

= 田布施 農ある暮らし vol.1 =

このコーナーでは町内の農業に関わる取組を紹介します。皆さんにもっと農業に注目していただき、農業が可能性に満ちたものになるような情報をお伝えしていきます。 経済課 農林振興係 ☎ 52-5805

～国営ほ場整備を契機とした

生産、販売、地域振興～

人口減少、農業者の高齢化で耕作放棄地が多く発生しています。田布施町はこれらの問題を解決し、農業振興によって地域経済を活性化するため、農業経営者の連携・集約化による効率化、収益性の高い作物の導入などで生産額を増やし、集落機能を維持しながら持続可能な地域を作り上げていきます。

現在進めている国営ほ場整備も耕作放棄地解消のための施策の1つです。田布施町の農地は、一部、区画の条件が整っているものもありますが、形が小さく不整形なものが多いです。工事された農地は耕作しやすいように区画が大きくなり、農作業機械が入りやすいような道も取り付けられます。栽培する作物もお米以外にも大豆や小麦などを導入し、1つの農地で2種類以上の作物が効率よく育てられるようになります。

また、高齢で農業をリタイアする人の農地が耕作放棄地になることなく、次の農業の担い手が耕すことができるように、地域の皆さんと協力して、事業を進めていきます。

◇工事実施前



◇工事実施後



田布施町地域おこし協力隊 OB・OG は 元気に過ごしてます

記：うましま COLOR 藤田敬太郎・枝里香

こんにちは。皆さまお久しぶりです。また、ご存知ない人は初めまして、私たちは、田布施町に初の地域おこし協力隊として来た藤田です。私たちは、それぞれ東京や広島で仕事をしていましたが、ご縁があり田布施町にきました。田布施町の海に浮かぶ馬島に住み7年目になります。

協力隊のときは、特産品のPR、移住促進、特産品の開発（豆茶）などを行いました。馬島では、耕作放棄地を活用して、収穫体験と野外クッキングの体験ができる『もぐもぐ』というイベントや、馬島の自然を思いっきり楽しむ『うましまこどもキャンプ』を行いました。協力隊の任期が終了した今でも、この2つのイベントは行っています。馬島では、私たち家族が最年少で、人生の大先輩ばかりで頼もしいのですが、10年、20年先を考えると不安で、若い人が移住してきてほしい…！とっていました。それが、なんと、願いが叶ったのです！

この4月に20代の男の子が移住してくれ、さらに馬



島で、子どもたちの学び場と遊び場を作ります。その名前は『しまっこ隊』といって小学生を対象に勉強を教え、自然の中での自発的な遊びをサポートします。彼は『うましまこどもキャンプ』に大学1年のころから関わってきてくれた、頼りにしている青年です。

これから、馬島がどんどん賑やかになっていく、楽しい予感がしています。

■しまっこ隊 URL (<http://shimakotai.com>)